



浦和大里小学校だより

6月号 令和7年5月30日発行

教育目標
夢と希望をもち、
人間性豊かで
心身ともに
たくましい子の育成



友や自然と過ごす豊かな時間

校長 中野 緑

「来週の今頃、わたしは山を登っています。」

館岩自然の教室に向けて、じっくりと準備を進めてきた5年生。しおりを読み込み、1日の流れを思い浮かべながら、何日も前からわくわくが止まらない様子。

「息をのむ」

キャンプファイヤーが終わり闇が迫るにつれ、星が夜空にくっきりと見え始めました。ナイトハイクで足元に気を付けながら歩いていた子どもたちが所員さんに促されて空を見上げると、満天の星空に、流れ星…。

「友達のことがもっと好きになりました。」

1日を振り返る「室長会議」2日目。1日目に発見した自分たちの課題を克服すべく努力した子どもたちは、「山を下りるとき〇〇くんが手を貸してくれました」「荷物をまとめておこうと声をかけたら、そうだね！とみんながすぐに動いてくれました」。いつまでたっても友達への称賛が止まらない室長会議となりました。こんな光景は初めてです。そして、「私は友達のことが前よりもっと好きになりました」。こんな言葉が聞けて、心から嬉しく思いました。

みんなで協力し合って、素晴らしい体験をした子どもたちです。子どもの頃の「自然体験」や、「友だちとの遊び」、「地域活動」などの体験が豊富な人ほど、「経験したことのないことにもチャレンジしてみたい」といった意欲や、「みんなで決めた約束は守ろう」といった規範意識、さらには「友だちに相談されることがよくある」といった、人間関係構築力が高く、いじめなどの人間関係のトラブルにも発展しにくい特徴があるそうです。

6月は、「いじめ撲滅強化月間」です。小・中学生を対象にした調査によると、「仲間はずれ、無視、陰口」をされた経験・した経験が、ともに9割を占めているということです。学校では、「こうした行為は、誰にでも起こり得る」という覚悟で子どもの表情をよく観察し、日頃から心を育てる様々な取組をしていきます。

例えば「縦割り班活動」では、異年齢集団で協力し楽しく遊ぶ機会を設けています。学級活動ではじっくりと話し合ってみんなで決めたことを、みんなの協力で行う経験を積んでいきます。道徳の時間には、これまで経験したことを出し合って、自分にとってよりよい生き方を探ります。さらには、子どもたちに自分のこととして考えてもらうために、学級でスローガンを話し合って掲示したり、気になる表情をみせるお子さんと面談をしたりしています。

学校で、家庭で、地域で、自然や人と関わる様々な体験を通して、子どもたちの心が育ち、大切な一度きりしかない人生を、自分の足で豊かに歩んでほしいと願うばかりです。